

4. 再配置の方向

利用者限定型の施設である小学校、中学校、保育園は規模が大きく、再配置による縮減効果が高いことから「主軸施設」として位置づけ、再配置を進めます。主軸施設以外の施設は、主軸施設の方向を前提に、施設類型別に再配置の方向を検討します。

(1) 主軸施設

①小学校	宇美小学校、宇美東小学校、原田小学校、桜原小学校、井野小学校
------	--------------------------------

- 施設は維持し、他施設との複合化を検討します。
- ・各小学校の存続を念頭に、地域コミュニティの拠点として、空き教室を利用した複合化を図ります。

②中学校	宇美中学校、宇美東中学校、宇美南中学校
------	---------------------

- 当面、施設は維持し、他施設との複合化は行いません。
- ・生徒数の将来推計から、比較的近い将来、減校や再編が必要な時期が到来するため、慎重な検討を行います。

③保育園	早見保育園、原田保育園、貴船保育園、柳原保育園
------	-------------------------

- 民営化または他施設への複合化を検討します。
- ・概ね5年以内に複数園の民営化を目指します。存続する園は、他の公共施設との複合化を検討します。

(2) 主軸施設以外

①集会施設	中央公民館、地域交流センター、井野小学校区コミュニティ事務局、集会所・生活館
-------	--

- 中央公民館は、ホールは庁舎へ、集会機能は各小学校の空き教室への複合化を検討します。
- 地域交流センターは、研修機能等を集約する受け皿とします。
- 校区コミュニティ事務局は、適切な時期に小学校の空き教室へ複合化します。
- 集会所・生活館は、自治会公民館として地域移譲を検討します。

②図書館・博物館	図書館、歴史民俗資料館
----------	-------------

- 図書館および歴史民俗資料館は、適切な時期に大規模改修を行い、継続利用します。

③スポーツ・レクリエーション施設	武道館、宇美南町民センター、天ヶ熊多目的運動場、原の前スポーツ公園、林崎運動公園、住民福祉センター、勤労者体育センター、総合スポーツ公園
------------------	--

- 武道館、宇美南町民センター、天ヶ熊多目的運動場、原の前スポーツ公園、林崎運動公園は、継続利用とします。
- 宇美南町民センターは総合スポーツ公園との連携を検討し、住民福祉センターは必要に応じて建替え・減築を図ります。
- 勤労者体育センターは、宇美東中学校の大規模改修にあわせ、宇美東中学校の体育館と複合化し、共用化を図ります。
- 総合スポーツ公園は、都市公園法の規定を満たす条件が整った場合、民間売却や機能転換を検討します。
- 寺浦運動広場は機能を廃止し、跡地利用を検討します。

④産業系施設	研修所
--------	-----

- 研修所は、地域交流センター等に機能を移転した後、民間への売却や機能転換を検討します。

⑤保健・福祉施設	老人福祉センター、健康福祉センター、働く婦人の家
----------	--------------------------

- 老人福祉センターは、各小学校へ分散して機能を移転し、小学校への複合化を図ります。
- 健康福祉センターは、適切な時期に大規模改修を行い、継続利用します。
- 働く婦人の家は、地域交流センター等に機能を移転した後、民間への売却等を検討します。

⑥庁舎・消防施設	庁舎、消防会館、各地域のコミュニティ消防センター
----------	--------------------------

- 庁舎は建替えにあわせ、消防会館および中央公民館ホールとの複合化を検討します。
- 各地域のコミュニティ消防センターは、将来の消防団組織再編にあわせ、統合を図ります。

⑦放課後児童クラブ	宇美小学校、宇美東小学校、原田小学校、桜原小学校の放課後児童クラブ（学童保育所）
-----------	--

- 各小学校の改修時期等に合わせた適切な時期に、各小学校の空き教室へ複合化します。
(井野小学校の放課後児童クラブについては、空き教室へ移転済みです)

各施設における再配置の方向は、町が現時点の基本的な方向性（考え方）を示すものであり、確定事項ではありません。
社会情勢や人口、児童・生徒数を踏まえ、概ね10年ごとに見直しを行っていくものです。

再配置による効果

今後の方向を前提に、再配置を行った場合の効果について、今後40年間（2019～2058年）の更新費用、施設の延床面積を比較してみました。

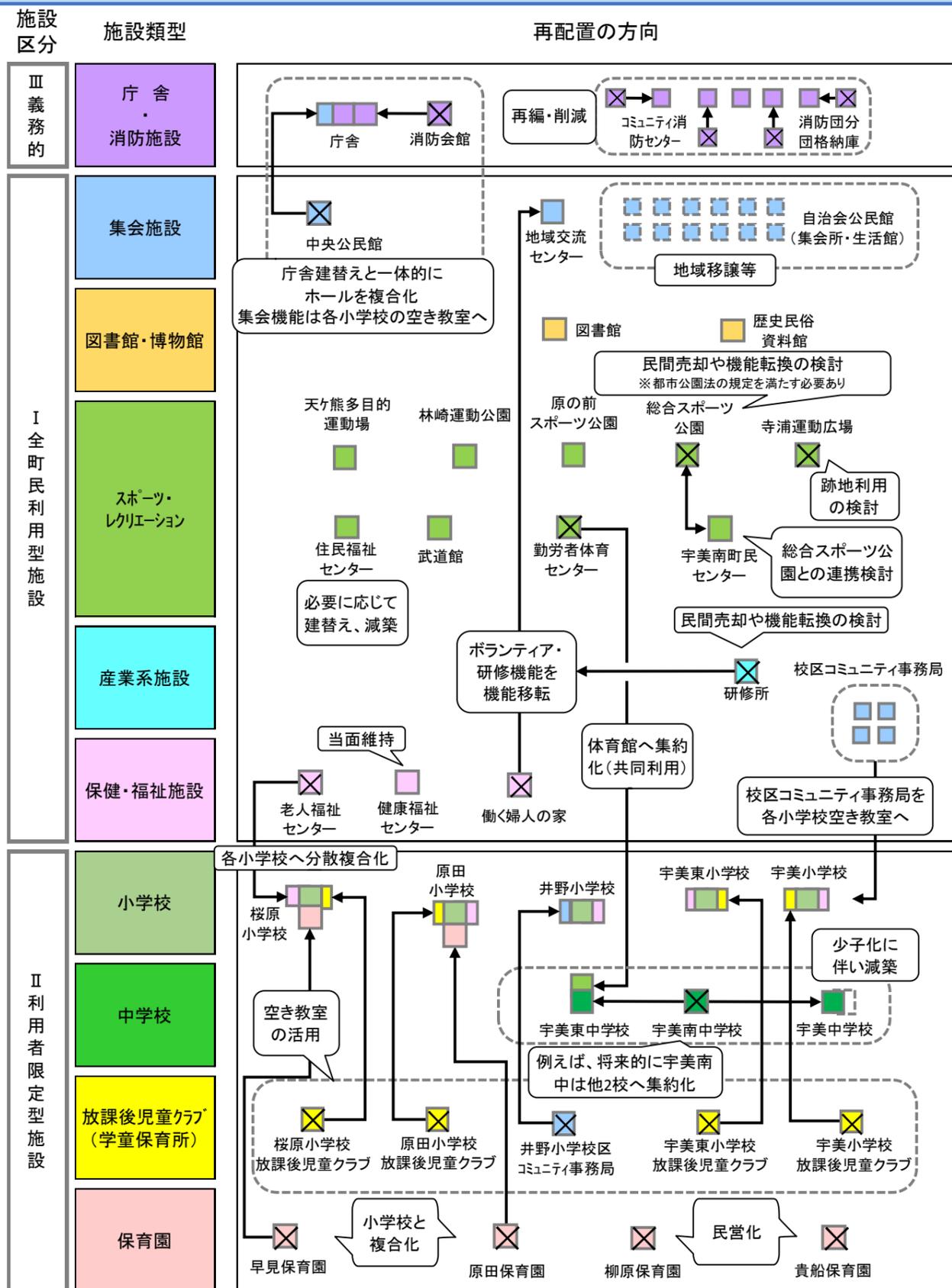
グラフを見ると、今回の再配置を行った場合、更新費用では総額192.2億円、1年あたり4.8億円の削減が見込まれ、延床面積では総合管理計画で設定した目標値に近い数字となりました。

- 1年あたりの更新費は6.0億円で、現状維持の場合に比べ、4.8億円の削減が見込まれます。

- 延床面積は、現在の面積を100%とすると、約25%の減少となります。



再配置の方向（全体図）



各施設における再配置の方向は、町が現時点の基本的な方向性（考え方）を示すものであり、確定事項ではありません。
 社会情勢や人口、児童・生徒数を踏まえ、概ね10年ごとに見直しを行っていくものです。

5. 再配置の推進に向けて

本計画は、社会情勢や人口、児童・生徒数の動向を踏まえ、概ね10年ごとに見直しを行い、実態に即した計画にしています。

- 住民の方の取組みとして、アンケート等への協力、ワークショップや説明会への参加をはじめ、公共施設に係る情報の共有、話し合いへの積極的参加などの主体的な協働の姿勢が不可欠となります。
- 行政の取組みとして、再配置推進事務局が施設の所管課と連携し、計画の進捗管理を進めます。特に、必要な段階で住民意向を把握する場や、学識者をはじめとする外部評価委員会を設けながら、公共施設の再配置を進めます。
- 公共施設の再配置を確実に進めるため、各施設の事業は、再配置計画の方向を踏まえ、計画（Plan）、実行（Do）、評価・分析（Check）、改善（Action）を行いながら進めます。



※宇美町公共施設再配置計画（本編）は宇美町ホームページからご覧いただけます。

宇美町公共施設再配置計画 概要版

2019年3月 発行 / 宇美町 財産活用課 ホームページ : <https://www.town.umi.lg.jp/>
 〒811-2192 福岡県糟屋郡宇美町宇美五丁目1番1号
 TEL:092-932-1111 FAX:092-933-7512